

関係機関の連携により移住から就農までをサポートしています

- JA佐渡では3年間職員となり、就農に向けて研修する就農研修制度で就農したい方の希望（米やおけさ柿など）に応じたオーダーメイド研修を実施
- 県・市・JAなど関係機関が連携し移住から就農までのサポートを実施
- 農業体験・見学を通年で受け入れ、希望に応じて内容をアレンジして実施

【位置図】



取組前

- 人口減少や農業者の高齢化が急速に進んでおり、担い手のうち新規就農者の確保が課題。
- 就農イベントを通して担い手候補となる研修生を募集しているが、認知度が低くブース訪問者や体験見学希望者が少ない。
- 後継者がおらず、離農・規模縮小する者の農地の引き受け手が十分ではなく、遊休農地化が懸念。

取組内容

- 新農業人フェアに年2回出展し、JA佐渡就農研修制度の研修生の掘り起こしを実施。
- 佐渡への就農希望者18名に対し、関係機関と連携して就農相談や面談を実施。希望者6名に対し、農業体験・見学を実施。
- 羽茂農業振興公社及び地域内農業者の協力を得て、令和7年度は3名の研修生が研修を実施。

取組後(成果)

- 就農希望者のうち1名がJAの研修制度で令和8年4月から研修を開始
- うち5名が令和8年度に農業体験を実施予定
- 今後も各種就農イベントに継続して出展するほか、JA佐渡独自の就農相談会を実施予定
- 研修修了生の就農状況
R6：4名
R7：2名
新規就農者数
過去3年平均(R4～R6) 13人

【誘致体制】

- 新規就農者担い手支援チーム**
- ＜JA佐渡＞
 - ・農業研修受入（就農研修制度等）
 - ・営農指導
 - ＜佐渡市＞
 - ・移住者支援
 - ・就農相談会事務局
 - ・補助事業の活用支援
 - ＜羽茂農業振興公社＞
 - ・農業体験
 - ・農業研修受入
 - ・就農後の支援
 - ＜新潟県＞
 - ・技術指導
 - ・経営支援
 - ・補助事業の活用支援

新規就農者や研修生の声

- 全く農業経験がなかったが、研修制度を通して基盤を築き就農できた。
- 移住し、まったく知り合いもいなかったが、研修制度を通して知り合いが増え農地も取得し就農できた。

新規就農者誘致環境整備事業 活用年度：令和7年度

【問合せ先】 佐渡農業協同組合

TEL：0259-63-3106

E-mail：einoukikakukacyo@ja-sado-niigata.or.jp

HP： <https://www.ja-sado-niigata.or.jp/>